

レト王国セント・ブラナバス高等学校との間で草の根・人間の安全保障 無償資金協力(GGP)の契約を締結

令和7年3月10日レト王国マセル県にあるセント・ブラナバス高等学校において、在レト王国日本国大使館(在南アフリカ共和国日本国大使館が兼轄)は草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)の実施の一環として、セント・ブラナバス高等学校の代表者と無償資金協力契約を締結しました。プロジェクト概要は以下のとおりです。

プロジェクト名: マセル県セント・ブラナバス高等学校 教室棟整備計画(69,736 米ドル)

概要: セント・ブラナバス高校(全校生徒 約 540 人)に新たな教室棟の建設及び学校用家具(生徒用机、教卓、教卓椅子、黒板)を整備することにより、同校の教育環境を改善し、もって同地区における高等教育の推進に寄与することを目的としています。

GGP は 1989 年に始まった日本の助成制度で、草の根レベルで人々の幸福に直接影響を与える非営利団体を支援する協力の形態です。人間の基本的ニーズの改善を目指す分野や、人間の安全保障の観点から特に重要な分野において優先的に支援を実施しています。

在南アフリカ日本大使館は、この協力がレト王国の人々の社会的・経済的福祉の実現につながることを期待しています。

